

2023年11月10日

課題名：大腿骨近位骨折術後の患者における院内生活プランニングとせん妄および
離床状況との関連

◆研究の目的と概要◆

当病棟では、入院患者様の入院前の生活情報などを聞かせていただいています。この情報を活用し入院生活、手術後起りうる可能性のある「せん妄」の予防と早期離床を目指すことで、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2021年4月から、2023年12月までの間に、大腿骨近位部骨折であると診断された患者さん

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、脳血管疾患や認知症の既往歴。麻酔方法、手術までの日数、疼痛スケール、術後初回離床開始日、術後初回端座位日、入院中のせん妄の有無、ICDSCの最高点数、抗不安薬、睡眠導入剤の内服有無

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

整形外科 研究責任者 村田 文治

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明